

## 「第5次学校適正配置実施方針」(素案)に対する意見募集結果について

### 1. 案件名

第5次学校適正配置実施方針(素案)

### 2. 意見募集期間

令和7年10月27日(月)～令和7年11月21日(金) 午後5時まで

### 3. 実施機関(担当所管課)

- (1)名 称: 教育部 教育企画課
- (2)電話番号: 06-6902-5779

### 4. 閲覧場所

教育企画課(市役所本館2階)、市情報コーナー(市役所別館1階)、市役所本館1階入口、保健福祉センター、南部市民センター、市民プラザ、市立公民館、ルミエールホール、くらしの相談窓口(そよら古川橋駅前3階)、大和田小学校、上野口小学校、古川橋小学校、五月田小学校、沖小学校、市ホームページ

### 5. 受付した意見等の件数

3 件

### 6. 意見に対する考え方

意見に対する市の考え方は別紙のとおりです。

## 第5次学校適正配置実施方針(素案)に対する意見

件数	意見の概要	市の考え方
1	<p>①小学校の統合・合併により、通学に時間がかかる子どもがいるため授業開始時間を遅らせるなどしてほしい。</p> <p>②登下校時のキッズサポーターのような見守り体制を強化してほしい。</p> <p>③安全に登下校ができるか不安なので、タブレットや何かの端末で位置情報が分かるようにしてほしい。(希望者だけでも良い)</p> <p>④中学校までの距離があり、夏場などは熱中症の可能性があり危険なのでシャトルバスのようなもので希望者は通学できるようにしてほしい。</p>	<p>学校統合により、現在よりも校区が広くなり、通学距離が長くなる児童生徒が出てくることは避けられず、児童生徒の新たな通学上の安全確保については、最大限の対策が必要であると考えています。</p> <p>①登校時間や授業の開始時間等については、ご意見を踏まえつつ、今後、学校や保護者等とともに検討を進めます。</p> <p>②見守り体制につきまして、地域・保護者への協力の呼びかけや警察との連携、交通専従員の配置など様々な角度から通学時の安全対策を進めていきます。</p> <p>③現在、市内全小学校で見守りサービスを導入しており、ご希望により有料版に加入いただいているご家庭については、保護者などがスマートフォンなどで児童が携帯している見守り端末の位置情報を確認することも可能です。(確認できないエリアも一部あります)</p> <p>④通学時の荷物を減らす、熱中症対策として水分補給の啓発を行う、通学時間も加味した登校時刻の設定など、様々な角度から学校とも連携して対策の検討を進めます。あわせて、将来的に自転車通学なども視野に、その際の安全性も含め、検討を進めます。</p>
2	日頃は門真市の教育にご尽力いただきありがとうございます。「第5次学校適正配置実施方針」(素案)を拝見させていただきました。児童生徒数が減り、校舎の老朽化を考えると学習環境の整備は急がれると思いますが、低学年の児童の登下校が気になります。校区が広くなり、通学路を覚えるのにも時間がかかると思いますし、6月、7月の暑さを考えると、保護者も心配なところだと思います。少なくとも1	児童生徒が安全・安心に学校に通学し、かつ安全・安心に学校生活を過ごすことは、すべての教育活動を行う上で、非常に重要です。学校統合により、現在よりも校区が広くなり、通学距離が遠くなる児童生徒が出てくることは避けられませんが、新たな通学路の検討にあたっては、地域や保護者のご意見をお聞きしながら、関係機関(道路管理者や警察など)等と調整し、道路等の整備なども含めた安全対策や見

	<p>学期間は安心・安全な登下校ができるような見守り等の対応を市として統合されるどの校区にも等しくお願ひします。</p> <p>教職員の負担にならないような対応をお願いします。</p>	<p>守りの充実を進めます。あわせて、通学時の荷物を減らす、熱中症対策として水分補給の啓発を行う、通学時間も加味した登校時刻の設定など、様々な角度から学校とも連携し、教職員の負担も考慮した対策の検討を進めます。</p>
3	<p>① 北東エリアの学校再編について 「通学の安全性等には特に留意」とあるが、通学はバスや自転車など、どのように想定しているのか。中学校が遠くなり、通学途中の事故に大変危惧している。また、教職員が迎えに行くことで何とか登校できている子どもがさらに登校しにくくなることも危惧される。</p> <p>② 子どものゆたかな教育と教職員の持続可能な働き方の両立にむけて 大和田・上野口統合前後に赴任すると、その後の古川橋小との再統合まで断続的に統合に向けた業務が続くことになる。通常の教育活動に加えて、物品整理、引越し準備、新校スタートに向けた調整会議など多くの業務が発生する。子どもとのゆたかな教育と教職員の持続可能な働き方を両立するために、負担軽減のための措置をしてほしい。</p>	<p>①児童生徒の新たな通学上の安全確保については、最大限の対策が必要であると考えています。安全に通学できるよう、通学時の荷物を減らす、熱中症対策として水分補給の啓発を行う、通学時間も加味した登校時刻の設定など、様々な角度から学校とも連携し、教職員の負担も考慮した対策の検討を進めます。あわせて、中学校については、将来的に自転車通学なども視野に、その際の安全性も含め、検討を進めます。</p> <p>また、学校の整備にあたっては、教育活動などのソフト面、建物などのハード面の両面からアプローチを行い、児童生徒がワクワクして毎日通いたくなり、自分の居場所のある安全・安心な学校整備をめざします。</p> <p>②子どもたちによりよい教育を行う上で、教職員に対しても同様に安全・安心でかつ働きやすい環境づくりが重要であると考えています。ワークショップやヒアリング等を通して、自分たちが働きやすい学校になるよう、学校づくりに参画していただくとともに、学校の再編によって、過度な負担が生じないよう、これまでの学校再編の際の状況や経験も参考に、負担軽減のための措置について検討を進めます。</p>